

## 新年度のご挨拶

理事長 大屋 滋

2025年度が始まりました。新しい利用者さんと新しい職員が加わり、明るい雰囲気です。新年度を迎えることができました。入職した職員は、経験のあるベテランも、卒業したばかりのフレッシュマンもいますが、みんな勉強熱心で向上心があり、少しでも良い支援をしたいという意欲に満ちています。その雰囲気が全体に広がっていくと思います。これまでも多くの研修を行い、施設内での検討会、法人内での発表会を行ってきました。今年度も日常的にたくさんの学びの場を作っていきます。

今年度新たに、旭市内の夢屋診療所の建物をお借りして、7月から子ども向けの療育を始めます。未就学児のみならず、小中高等学校のお子さんも対象として、個別の療育を行う予定です。スタッフは長年多くの障害のある子どもさんにかかわってきた東総地域最高レベルの専門家です。卒後から成人期を対象とする、アルファー工房、希望塾、あおぞら三崎にも新たな力を加えてくれると思います。職員の意欲と専門性を高めながら、利用者の皆さんをよく理解し、しっかりと分かり合えるやり取りを行い、適切な支援をしながら、1年間楽しく過ごしていきたいと思っています。皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

\*\*\*\*\*

### 今年度の法人研修は…

#### 【個別支援計画を考える・2年目】

##### 1. 個別支援計画の書式改定

個別支援計画書に「現状・特性・強味・弱み欄」を新設

##### 2. 作成に関する悩みや課題、改善策の意見共有

##### 3. 事例検討を通じた支援における重要ポイントの学び

例えば…  
 ~10年後、20年後を見据えて~  
 ・特性に配慮した視覚的支援  
 ・方向性を明確にした表出コミュニケーションの支援  
 ・支援の根拠となるアセスメントツールの活用



今年度も個別支援計画の内容はもちろん、計画を立てるための個性や特性の理解、情報の整理、さらには具体的な支援方法の実際までを法人全体で考え、深める機会を設けていきます。

昨年度の成果を踏まえて



### 「児童発達支援センターわかば」から

～ 今年度の抱負 ～

銚子市から指定管理を受け、4年目になりました。今までの療育を続けながら新しい活動も取り入れ、楽しく療育ができるような工夫をしています。

今年度から本格的にお子さんの発達状況を保護者と共有することを目的とし、わかばマニュアルを一人一人のお子さまに導入していきます。お子さまの成長を保護者さまと共有するツールの1つとして活用できればと思います。療育見学も随時受入れておりますので、ぜひご予約ください!!

センター所長：富岡 美帆



生活支援の様子



運動療法の様子

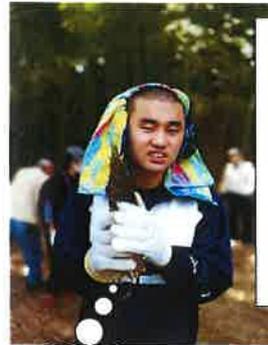
## 海上アルファ工房



力を合わせて!



## 江ヶ崎アルファ工房



香取市岡飯田の竹林



ぼくの竹の子、どうでしょう



# 春の恒例行事「竹の子掘り」



天気も上場、ゆるやかな坂道をみんなで歩きました。

ご近所の犬に吠えれ驚いた利用者さんも、土の中からちょこんと顔を出す竹の子に笑顔が戻りました。慣れない鍬の扱いに苦労しましたが、大きな竹の子もいただきみんな大満足でした。

江ヶ崎アルファ工房：伊東純子

## 希望塾



旭市清滝：速水邸竹林



## 副施設長紹介



桜が舞い散るこの季節、江ヶ崎へ戻ってまいりました。利用者さんを一番に考え職員一丸となり、利用者さんの笑顔を守っていきたく思います。よろしくお願いいたします。

江ヶ崎アルファ工房副施設長：石田庸子



利用者の方、一人一人が持っている力を活かしてご本人ご家族の望む生活が送れるよう経験を活かして相談支援を行って行きたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

相談支援センター結：伊藤洋子

## 入職職員紹介



プロ意識の高い皆さまと共に良質なサービスを提供すべく努めて参ります。よろしくお願いいたします。

海上アルファ工房：朝比奈真美



令和7年3月19日卒業し、4月1日に江ヶ崎に勤務させていただきました。

新たな環境でわからないことが沢山ありますが、長所である温厚な性格を活かせるように精進して参ります。

江ヶ崎アルファ工房：大割翔武



専門学校を卒業し、4月よりわかばでお世話になっています。

子どもたち一人一人との関わりを大切に頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

児童発達支援センターわかば：伊藤世奈



5月に入職させていただきました。

皆様のお役に立てるように頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

あおぞら三崎：廣田季代子

新年度もよろしくお願いいたします

